

ハイライトよねやま

2000年5月1日現在

1. 元奨学生で駐日韓国大使となられた崔 相 龍氏について

崔 相 龍 (CHOI, Sang-Yong) 氏

奨学期間と世話クラブ：1969年4月～1970年3月 東京日本橋 RC(2750)

1970年4月～1972年12月 東京城西 RC (2750)

崔 相 龍氏は、慶北月城郡出身で、東京大学大学院博士課程で国際政治学を専攻し、博士の学位を取得されました。帰国後、高麗大学（ソウル）で教授となられ現在に至ります。現職大学教授で駐日韓国大使に任命されたのは崔氏が初めてで、両国の文化交流の推進と天皇訪韓実現に期待されているとのこと。

2. SY - A 奨学金について

台湾・韓国にある学友会（元奨学生の会）の選考委員会で選定された候補者を米山奨学生として受け入れる制度です。

対象者は、台湾または韓国に在住し、大学・研究機関に在籍する50歳未満の常勤の上級研究者で、日本の大学・研究機関において研究活動を行おうとする方です。台湾・韓国各3名まで採用します。

渡日前に採用が決定する画期的な制度で、2000年度から試行されます。

2000年度の合格者は別添の6名です。

3. 2000学年度米山奨学生について

2000学年度は、1100人を奨学します。

奨学生種別の内訳は以下のとおりです。

Y 奨学生	Y U (学部課程) 奨学生	150名
	Y M (修士課程) 奨学生	375名
	Y D (博士課程) 奨学生	500名
C Y 奨学生 [クラブ米山奨学生]		43名
SY 奨学生 [特別米山 奨学生]	S Y - 1 (短期研修・農村指導者養成)	15名
	S Y - A (母国学友会推薦)	6名
	S Y - J (日本研究) (今年度で終了予定)	1名
	S Y - S (元奨学生短期再留学)	10名
計		1100名

国籍の内訳は中国464名、韓国275名、台湾135名の順で、合計38カ国になります。

以上